

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号 実施計画事業		B1602-3		事務事業名			一般事務事業窓口業務委託料				事業期間			平成元年度		～	令和8年度以降				
実施計画事業以外の事業		○		担当部			健康生きがい支え合い推進部				担当課・担当係			東部市民センター公民館係							
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編		基本 施策	16	展開 方向	2	事業・予算区分		一般事業		款	10	項	5	目	2	大	6	中	1
	根拠法令 ・個別計画	社会教育法 小牧市公民館の設置及び管理に関する条例 小牧市公民館の管理に関する規則 公民館の設置及び運営に関する基準 小牧市公共施施設長寿命化計画								対象 (何・誰を対象に)		市民センター利用者									
	目的 (何のために)	市民が生涯学習に快適に取り組めるように、施設機能の充実や市民ニーズに対応したサービスの提供を目指す。								内容 (どのような方法で)		【令和5年度の実施状況】 窓口サービスノウハウを集積している委託先事業者からの各種法令・システム操作に習熟した人員派遣により、生涯学習・発表会・練習・会議等で施設を利用する市民等に貸館(利用予約・料金徴収)及び備品貸出等の窓口手続対応、利用方法の案内や問合せ対応、利用中の問合せへの現場対応等を実施した。 ○開館日数:309日 ○利用件数:3,845件 ○利用人数:94,948人 ●直接経費の内訳(令和5年度決算見込額) 窓口業務委託料(4,826千円) ●直接経費の内訳(令和6年度予算額) 窓口業務委託料(5,522千円)									

(2)事業費

事業費	項目				単位等	R2	R3	R4	R5	R6
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	4,065	4,129	4,129	4,826	
				国・県支出金						
				その他						
			計(A)			4,065	4,129	4,129	4,826	
			対前年比			%	—	101.57%	100.00%	116.88%
		予算額		千円	4,168	4,500	4,130	4,835	5,522	
	人件費	正規職員		人	0.5	0.5	0.5	0.2		
		正規職員(平均賃金)		千円	3,743	3,743	3,743	1,497		
		その他職員		人						
		その他職員(時給×時間)		千円						
		計(B)		千円	3,743	3,743	3,743	1,497		
事業費合計(C=A+B)			千円	7,808	7,872	7,872	6,323			

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	16	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	利用率	%	↗	38.5	42.5	—	—	
	展開方向	2	2								
			3								

指標	指標ほか			単位		R2	R3	R4	R5	R6
	成果指標	東部市民センター公民館利用率	%	目標	46.6	46.6	38.5	38.5	42.5	
				実績	41	44	45	52		
				目標						
				実績						
	活動指標	東部市民センター公民館利用件数	件	目標	2,846	2,846	2,846	2,846	2,846	
				実績	2,476	2,567	3,354	3,845		
		東部市民センター公民館利用人数	人	目標	56,918	56,918	56,918	56,918	56,918	
				実績	35,864	31,429	45,465	94,948		
	単位あたり事業費	受益者数(a)			人	35,864	31,429	45,465	94,948	
		受益者あたり事業費(=C/a)			円	217	250	173	66	

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維 持(改 善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの									
	事業の達成状況と課題	○東部市民センター公民館利用率は増加しているが、当センターは複合施設であり、窓口業務では公民館以外の施設利用予約窓口や外部団体事業のチケット発券、さらに各証明書発行など篠岡支所を訪れる市民もあるので、事業費と業績指標との関係は流動的である。 利用率自体の増減理由は、感染症対策による施設一時閉館及び利用制限(令和2年2月～令和4年4月)による生涯学習団体の活動停止・減少、ワクチン集団設置会場長期設置(令和3年5月～11月、令和4年3月～4月)による一部室場貸出停止、そして市公民館・市民会館改修工事閉館(令和5年11月～)によって、利用者が当施設へ流入となったことが考えられる。 ○令和5年10月から、市民窓口課及び支所窓口業務契約と市民センター(公民館)窓口業務契約を一本化した。これにより、窓口業務職員の変動があったため、公民館担当職員の早期習熟が必要となった。		今後の実施内容・今後の改善内容	○開館してから35年が経過した施設である。日常の保守点検及び定期点検に加え、小牧市長寿命化計画に基づき施設の老朽化などに対応した修繕等を計画的に推進し、快適に施設利用ができる環境を整えることが不可欠となっている。 今後、進行する老朽化にあたり、維持管理及び修繕に係る経費が増加していくことが想定されるため、一者随意契約はじめ仕様書等の見直しを行うことと、予防修繕を見込んだ予算措置が課題となっていく。							
	改善の有無	有			事務事業評価による額	千円 節 ー 細節 ー 細々節 ー						
	これまでの改善内容	・令和3年度に他市町村と施設使用料等を比較し、令和4年度から使用料を見直した。 ・令和4年度1月から新施設予約システム移行に伴い利用者自身によるネット予約及びネット決済を可能にしたことで、受付窓口の混雑が緩和された。										

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
事業分析	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの住民に影響がある
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい
	公平性	受益者負担は適正か	適正である